

第46回京都大学地球環境フォーラム

未来につなぐ地域の緑

～生態系に配慮した緑化のすすめ～

2025年11月8日(土) 14:00～16:40 (開場 13:30)

京都大学 北部総合教育研究棟 1階 益川ホール (定員150名)

参加無料／申込締切 10月27日(月)

緑化は生態系回復の重要な手段です。しかし、道路建設や宅地開発などにともなう造成斜面（法面）の緑化においては、牧草などの外来植物が用いられることが多く、生態系への影響が懸念される場合があります。本フォーラムでは、外来植物を使用した緑化においていかにリスクを低減させて行くのか、また地域性系統の植物を使用した緑化をいかに普及させて行くのかについて、多角的な視点から議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしています。

外来緑化植物の有用性と生態系への影響について

江川 知花（農研機構農業環境研究部門 主任研究員）

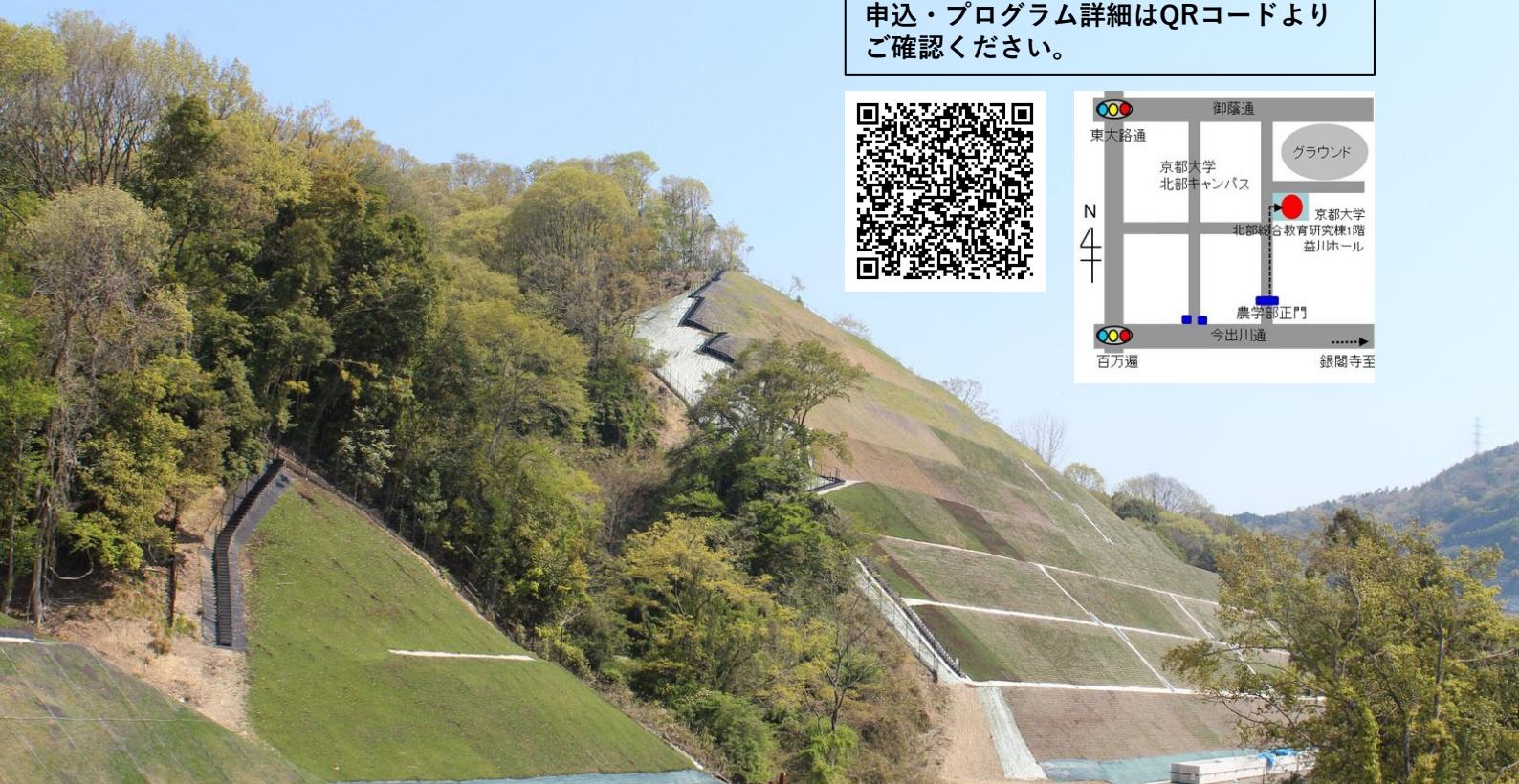
地域性系統の植物による緑化の実現に向けて

今西 純一（京都大学大学院地球環境学堂 教授）

地産資材の活用による緑化と地域活性化

中村 華子（金沢大学先端科学・社会共創推進機構（能登学舎） 特任准教授）

申込・プログラム詳細はQRコードより
ご確認ください。



主催 京都大学大学院地球環境学堂

フェスタ
国立大学2025